



周辺の整備で存在感がますます増した進藤先生の顕彰銅像



館 報

玄洋106号

平成22年4月1日

発 行

社団法人 玄洋社記念館

郵便番号 810-0074

福岡市中央区大手門二丁目

6-21 スーヴェル大手門1階

電話 (092) 762-2511

FAX (092) 762-2502

## 進藤先生の顕彰銅像

# 歩道設け周辺を整備

### 福岡市美術館前庭



整備前の顕彰銅像

社団法人玄洋社記念館の創設者で、元福岡市長、福岡市名誉市民の進藤一馬先生の顕彰銅像の周辺が整備された。(2面に関連記事)

顕彰銅像は、福岡市美術館(同市中央区天濠公園一)の芝生を張った前庭に建立されている。十七年前の平成五年一月十八日に除幕された。その後の歳月の経過で周囲の樹木や生け垣が成長し、最近、美術館への

## 来館者の親しみさらに

通路からは目に付きにくくなっていた。整備では、通路から銅像までの約十二メートルに、約一・五メートルの幅で御影石張りの歩道を設け、銅像の台座の周囲も横約四・五メートル、縦約五メートルの範囲に御影石を張った。銅像の前から、裏に回って碑文も読んでもらえるようにという配慮が込められている。

また、銅像を覆うように茂っていたヤマモモの木は通路を隔てた美術館事務棟側に移植され、他の樹木も枝抜きが施されて、生け垣のせん定も行われた。

整備は一月二十五日に始まり二月十七日に完了した。

通路からの銅像の見通しが見違えるようになつた。従来は美術館を訪れても銅像の存在に気付かず通

り過ぎる人が多かったが、整備が終わってからは来館者の多くが銅像に目を向けている。

「進藤先生に大変お世話になった」という方の「井戸の水を飲むものは、井戸を掘った人を忘れてはならない」という志から整備は行われた。

没後十七年余が過ぎたが道路拡幅で伐採されるはずだった桜を、市民の願いを知って救った「桧原桜」の逸話に象徴される「市民の父」と慕われた進藤先生の慈愛あふれる市政が、改めて市民の胸によみがえることだろう。

福岡市美術館は、四期十四年にわたる市長職を引退後の進藤先生が館長を務められた、進藤先生ゆかりの施設。銅像は九州造形短期大学名誉教授で彫刻家の木戸龍一氏の作。青銅製全身像で高さが台座を含めて二・四五メートルある。

### 玄洋社憲則

- 第一条 皇室ヲ敬戴ス可シ
- 第二条 本國ヲ愛重ス可シ
- 第三条 人民ノ権利ヲ固守ス可シ

### 今号の主な内容

- ▽福岡さくらの会がベニヤエシダレザクラを寄贈 2面
- ▽韓国のテレビ局が玄洋社墓地など取材 2面
- ▽日中歴史共同研究で「廣田弘毅先生は日中関係の改善に努力」 3面
- ▽賛助会員芳名録 3面



# 韓国 KBS テレビ

## 玄洋社墓地を取材

### 閔妃事件の真相求め

韓国のテレビ局 KBS（韓国放送公社）の取材班「二〇〇〇年（韓国放送公社）の取材班 ぶりの追跡…」の取材だったが、昨年十二月十九日、た。

同番組は、明治二十八年（一九九五）十月八日に当四丁目）内の玄洋社墓地を撮影、取材した。

取材班は沈光欽（シム・カンフム）プロデューサーとカメラマン、コーディネーターの三人。KBSが、今年一月に放送した KBS の大隊長、兎範善が、日本



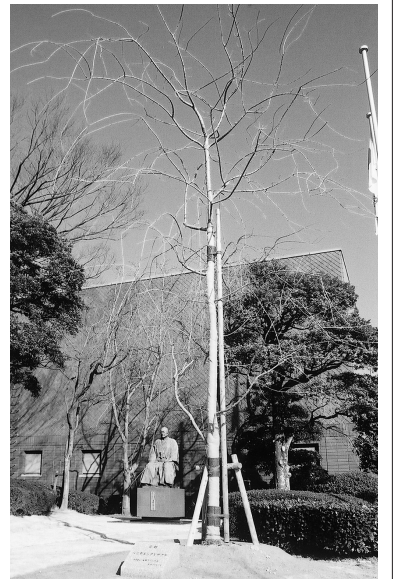
玄洋社墓地を撮影する KBS の取材班

に亡命して八年後の明治三十六年（一九〇三）に広島で朝鮮人亡命者、高永根に殺害されたことを底流に、二人がなぜ日本に亡命し、亡命先で殺し、殺されなければならなかったかを追跡する中で、未だに明らかになっていない事件の真相に迫る、というもの。

このあと取材班は、同区上川端の榊田神社を訪れ、藤が奉納した日本刀を取材した。

藤は高場乱の興志塾の門下生。石瀧豊美氏が著した「玄洋社発掘」増補版によると、藤は、事件の犠牲者の冥福を祈って、福岡藩の勤王派家老、加藤司書公の菩提寺の「節信院」に子安観音像を建立した。藤が閔妃に似せて下絵を描き銅像として作成されたが、戦時中に供出された。戦後、石像で再建された。

取材班は前日は熊本市を訪れるなど、国内の同事件ゆかりの地を取材した。



福岡さくらの会が寄贈

### 進藤先生像前に「ベニヤエシダレ」

福岡さくらの会（松村隆会長）は、福岡市美術館に建つ進藤一馬先生の銅像前に「ベニヤエシダレザクラ」

「写真」一本を寄贈した。（一面参照）

進藤先生の銅像周辺が整えられるのに合わせて、桜常緑樹が多い銅像周辺に、好きだった先生に楽しんで彩りを添えることになる。

### 鳥飼八幡宮 社務所が完成

改修していた中野正剛先生ゆかりの鳥飼八幡宮（福岡市中央区今川二）の社務所が昨年末、完成した。

モダンな設計で、お礼授与所も見違えるように明るくなった。

山内勝二郎宮司は「初もうでの参詣者にも好評でした」と喜びの表情。境内の樹木も手入れされた。



## 進藤喜平太の思い出・第2部 「追悼録」から

進藤 喜平太先生 末永 節（談）

或時先生のお供をして大原義剛と私の三人で熊本佐々友房さんを訪ね、或る料理屋に招待された事がありました。私は案内された料理屋の二階の一階に入ると直ぐに床の間を背にして座を占め、大原を傍らに呼んで、

「吾々は客と呼ばれたのだから貴様も正面に座って居れ。」

と云うて大いに威を作って居ったのであります。一方進藤先生は二階の階段を上った所の上り口に静かに座って居られるのであります。やがて佐々さんをはじめ安達謙藏等の錚々たる壯士豪傑連中が参ったのであります。一同鄭重に進藤先生に挨拶をし先生を中心に座を占めて居って吾々を気にもかけない風でありました。

吾々は熊本壯士に負けるものかと気負ふて居たのであります。遂に先生の徳に及ばず大恥をかけたのであります。先生は此の様に気取りのない方でありながら深く尊敬された人であったのであります。

天下が先生の功績を知って居るのであります。が、その人格、風采、挙動にほこらしい所が一切なく、己を空しくして他を推す先生の眞面目は私が最も敬服して居った点であります。先生は深い深い人格の方であったのであります。（この項終わり）

※進藤喜平太の思い出・第2部「追悼録」からは、末永節先生の項を今号で終わり、次号から葛生能久先生の「進藤喜平太先生追懷談」を掲載します。

### 廣田先生 「侵略の先頭に立たず」

## 日中歴史 中国側論文が認識示す 共同研究

日中両国の有識者十人ずつで構成する「歴史共同研究委員会」が、一月三十一日に双方の論文をまとめた初の報告書を公表した、というニュースが二月一日の新聞で報道された。

「南京大虐殺」の犠牲者の数で日中間の見解が一致しないことなどが取り上げられていたが、西日本新聞はサイド記事に「食い違いさらに精査を」の見出しで

石井名譽教授は、太平洋戦争においてA級戦犯の罪に問われ、文民でただ一人、死刑に処せられた廣田弘毅先生に関して中国側は記述し「日中関係の改善に努力していた」と認めている、と語っている。

石井名譽教授談話の関係

## 「廣田弘毅先生顕彰祭」 今年は5月15日に齋行

悲運の宰相、廣田弘毅先生のご遺徳を顕彰する社団法人廣田弘毅記念青少年育成会主催の今年の「廣田弘毅先生顕彰祭」は、五月十五日（土曜日）に齋行される。時間は午前十一時から。

場所は福岡市中央区城内五（福岡市美術館入り口）の廣田先生銅像前。参加費は千円。詳細は玄洋社記念館

（電話092・762・2511）へお問い合わせを。大勢のご参加をお待ちしています。

本紙1面で「周辺が整備された」と紹介した進藤一馬先生の銅像は、廣田先生の銅像の北側約五十メートル位置にある。廣田先生の顕彰祭ご出席の折にご覧になるのもよいでしょう。

部分の要点を次に紹介する。

一日中双方とも事実に基づいて論文を執筆するよう努め、評価できる研究結果になったと思う。共同研究だけでなく、それ以前からの双方の研究者の努力が反映された。

（中国側は）廣田弘毅元首相についても、「日中関係の改善に努力していた」と認め、必ずしも侵略の先頭に立っていたわけではないとの認識が示されている。

刑の執行から六十一年余りが経過するが、廣田先生に着せられた濡れ衣が、一日も早く、国際的にも晴らされるのが日本国民の願いである。

### 賛助会員芳名録

- （2月16日現在・敬称略）
- ▼法人の部
    - （三万円） バイオテック株（東京都）
    - （二万円） 山壽 泰生（那珂川町）
    - （二万円） 秋山 金蔵（福岡市）
    - 中井 裕子（松戸市）
    - 井手 泉（福岡市）
    - 大江田 信（太宰府市）

### 平成22年度

## 会費納入のお願い

春暖の候、玄洋社記念館賛助会員の皆様にはご健勝でお過ごしのこととお喜び申し上げます。また、日ごろから当記念館の活動にご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

皆様のお陰をもちまして、玄洋社記念館は、昨年度も先覚顕彰行事など所定の活動を滞りなくすすることができました。

十月二十四日に実施しました「中野正剛先生顕彰祭」（主催は中野正剛先生顕彰会）には、中野先生の令孫、真理・ヘーゼルウッドさん、令曾孫、中野慧さんの二人がそろって出席され、顕彰祭の意義が一層深まりました。初出席の慧さんは、昨年、地元の西日本新聞社に入社されており、中野先生のジャーナリストの血筋を感じさせられたものでした。

さて、本年も新年度を迎えるにあたり、当記念館は平成二十二年度分の

賛助会費の受け付けを同月一日から始めさせていただきます。

法人会員の皆様、個人会員の皆様には、景気の先行きも定かでない中、誠に恐縮ではありますが、何卒よろしくご賛助をお願い申し上げます。

賛助会費の受け付け要領は次のとおりです。

- ▼個人会員 11口一万円
  - ▼法人・団体会員 11口三万円
  - 納入は郵便振込または銀行振込でお願い致します。振込先は次のとおりです。
  - 【郵便振込】口座番号 01770011200738
  - 【銀行振込】西日本シティ銀行赤坂門支店 普通預金 口座番号0740047
  - 宛名は「玄洋社記念館」です。
- 法人 玄洋社記念館

建設コンサルタント  
建設事業の計画・調査・測量・設計・施工管理

ジーアンドエス・エンジニアリング株式会社

代表取締役社長 花田 和久  
専務取締役 児玉 和久

本社 福岡市博多区東比恵三丁目二四一  
〒812-0007 電話(092) 48113100  
東京支社 東京都杉並区高円寺南一丁目三三  
〒166-0003 電話(03) 537815800  
営業所 千葉・浦和・神奈川・山口・佐賀・北九州・大分・長崎

福岡鮮魚市場のコア企業!! 21世紀の水産業界を領導するアキラグループ

◆鮮魚卸業◆

株式会社 アキラ水産

代表取締役社長 安部 泰宏

本社 福岡市中央区長浜3丁目11-13  
電話092-71116600(代表)  
関連会社/株式会社コウトク水産

AKIRA  
Oh. Fresh! Sea foods.

九星飲料工業株式会社

代表取締役社長 仲原 志平

本社 福岡県糸島市波多江字中川原一〇〇  
伊都工場 電話(092) 33249999  
FAX (092) 33249900

http://www.kyusei.co.jp/

造園・緑化 自然とコミュニケーション

株式会社 別府梢風園

代表取締役社長 別府 壽信

本社 〒813福岡市東区青葉一丁目六一五三  
TEL 092-9169110(六七八)  
FAX 092-9169114(四五五四)  
Email: info@shoufuen.co.jp

(財)日本医療機能評価機構認定

開放型病院・臨床研修指定病院

特定医療法人

原土井病院

理事長 原 寛

〒813-8588  
福岡市東区青葉6丁目40番8号  
☎092-691-3881(代)  
http://www.haradoi-hospital.com/

HARADOI HOSPITAL

原土井病院

〒813-8588  
福岡市東区青葉6丁目40番8号  
☎092-691-3881(代)  
http://www.haradoi-hospital.com/



# 玄洋社関係史料の紹介

石瀧 豊美

第 48 回

## 宇田川文海『西南拾遺』(十八)

(早稲田大学図書館所蔵)

明治十二年九月刊行

小室信介

宇田川文海編輯

『西南拾遺』巻之四

明治十年三月二十八日未明、武部小四郎・越知(越智とも)彦四郎を大隊長とする福岡士族の蜂起、いわゆる「福岡の変」が起きた。折しも西南戦争田原坂の激戦が続く、博多湾には官軍兵士を乗せた艦船が次々に入り、兵士は久留米・大牟田へと南下していた。負傷兵は逆のルートで後送されてくる。福岡・博多は官軍の兵站基地とも言えた。警戒厳重なお膝元での戦火勃発だった。

若き日を遊蕩に過ごした森震志は、成長するにつれて精神的にもたくましくな

武運を祈りつゝ、漸く今頃帰りに、図らず爰処にて逢ひ見んとは、此も正八幡の利益にや候はん。いざ、内に入りて語ひ玉ひねと云ひつゝ、手を取りゆかんとすに、震志は其が手をふり放しつゝ、声はげまして云ひけるは、此は益なき事をする者かな。我が今夜此処に来しは斯く淫れたる心ならず。敵の陣処を覗ふて明日の軍配をも定めん為ぞ。就ては道も遠からねば、汝に一目外ながら永き訣を告げんとて、かく夜を侵かして来ぬるなり。

り、蜂起した福岡士族の幹部の一人となっていた。この物語は実在の人物・森震志の生き様を縦糸に、彼をとりまく女性たちの悲劇を織り込みながら「福岡の変」を描いた珍しい小説である。作者は森震志の生涯を誰かから聞き取ったと思われ、いわゆる土地勘がないにも関わらず、おおむね事実合致した記述となっている。もちろん小説である限り、想像で埋めた部分が多いのは当然であろう。

### 森震志等、兵を率ぐ。賊兵敗北。(続き)

されば今日しも、人々は恐れ惑ひて閉籠りしが、妾【震志の愛人、小梅】は君の身の上の心にかかりて居ぬ候、夕暮ちかき頃ほひに、密に内を忍び出、箱崎の八幡宮迄詣て行き、君の

が、闇はあやなし暗まぎれ、次第に足音遠ざかりて行衛も知らずなりにけり。斯くて震志は小梅に別れて七車村【七隈である】に立寄り見るに、敵押寄せし体もなく、渠魁の人々打集ひて、軍の評定区々なる処なりしかば、稍先づ心安堵つゝ、其席に加はりて、明日の戦図は兎やせん角やせんと商議なしける。敗軍の將は以て勇を語る可らずとは宜なる哉。越智・久光【忍太郎】・加藤【堅武】の輩も、両度の敗に気後れしや、花々敷軍議も得為さず。只身を逃る、策のみを

論じ居れば、其言ふ事も己が随意にて決定すべくも見えざりけり。斯く軍議の時を移せしかば、東方稍白く東雲の空ほがらかに明ゆきて、物の黒白も弁ふべくなりぬ。時しも彼方の森にあたりて、いと騒がしふ音のなして、宿栖の鴉むらむらバツと此方をさして飛来るに、震志は屹と眼をつけ、如何に、方々注意し候へや。鳥驚く者は伏兵なりとは兵家の戒めにして、昔八幡太郎が奥州征伐の砌、深くもこれを感じり候なり。今彼方なし、言甲斐なき人々と志

響あるのみならず、宿栖鴉の飛び騒ぐは必定敵の伏勢ありと覚え候ふぞや。防戦の用意、怠り候など下知も為果てぬ其中に、はや森陰には一隊の兵卒現れ出、小銃の筒先揃えて釣瓶打ちに打放しければ、すはや、敵押寄せ来れりと驚騒ぐこと大方ならず。槍よ、刀よと周章の内、官軍の飛丸に中りて死する者二十余人に及びしかば、臆病風の附きたる賊兵、這は叶はじと思ひけん。皆逸足出して逃行くにぞ。震志は此体を見て齒嚙を慮に候ふ。

君聞かずや、漢の高祖は七十二戦に敗北して最後の戦一戦に天下を保つ。我輩運命拙なく一度の勝利を得ざるとも、恥を忍び世に存へば、又如何なる時機の至らんも知る可らず。且は西郷大将【隆盛】には尚熊本城を攻囲んで兵力未だ衰へずと聞けり。兎にも角にも一命を全ふして、他日の謀をなすには如かず。いざ兵々【其々の間違いか】に落延ん。短慮功を成さずとかや。我輩に従ふて来り候へと云ひつゝ、引立て落ゆけば、震志も実にもと覚りける。

平成22年4月1日

玄

洋

第 106 号(2)



玄洋社墓地を撮影するKBSの取材班

### 韓国 KBS テレビ 玄洋社墓地を取材

韓国 KBS テレビは、2010年(平成22年)3月17日(水)午後8時30分、同局の歴史番組「歴史の現場」で玄洋社墓地の取材班の様子を放送した。取材班は、玄洋社墓地の歴史を調査し、その重要性を伝えるため、墓地を訪れ、関係者やボランティアと話し合い、撮影を行った。番組では、玄洋社墓地の歴史や、その重要性について詳しく紹介された。

### 進藤先生像前に「ベニヤエンゼル」

玄洋社墓地の進藤先生像の前には、ベニヤエンゼルが設置された。これは、進藤先生の功績を称え、後世に伝えるためのものである。進藤先生は、玄洋社の発展に大きく貢献した人物であり、その功績は後世に語り継がれるべきである。

### 社務所が完成

玄洋社墓地の社務所が完成した。これは、玄洋社の歴史を伝えるための重要な施設であり、多くの参拝者が訪れることになる。社務所には、玄洋社の歴史や、その重要性について詳しく紹介された。また、参拝者のための休憩スペースも設けられた。

### 「追悼録」から

進藤 彦平 先生 追悼録

進藤 彦平 先生は、玄洋社の発展に大きく貢献した人物であり、その功績は後世に語り継がれるべきである。追悼録には、先生の生い立ちや、その功績について詳しく紹介された。また、先生の遺言や、その遺志についても紹介された。

七隈・金武の戦いに続く野芥村の戦いで野芥神社に立てこもる福岡党と官軍の戦いを描いた同神社本殿の絵馬 福岡市早良区野芥四丁目